

# 滋賀県精神保健福祉協会だより

第13・14併合号  
**SHIGA**  
 精神保健福祉協会

2002.2.1

編集発行：滋賀県精神保健福祉協会

事務局：滋賀県精神保健福祉協会

〒525-0072 草津市笠山八丁目4番25号  
 滋賀県立精神保健総合センター 気付

TEL 077(567)5250 FAX 077(567)5033

## 会長就任のご挨拶

滋賀医科大学精神医学講座 教授

大川 匡子



大川 匡子 先生

要とするような問題です。また近年世間を震撼させる事件が次々と起こっており、いざいざ何らかの形でメンタルヘルスとつながりがあるといえるでしょう。このような状況のなかで精神科医療の重要性が増してきているといえます。

世界保健機関でも二〇〇一年に世界保健のテーマを「精神保健」として啓発活動を進めております。わが国でも厚生労働省が「心の健康」というテーマをとり上げ今年度多くの研究費を投入し国民のメンタルヘルスに力を入れようとしています。

精神疾患は薬物療法、精神療法、作業療法などの治療ばかりでなく地域での生活を続けていくための地域ケアシステムが重要となります。そして精神障害者が社会でのびのびと生活しその能力を十分に発揮するために国家的な啓蒙教育も必要となるでしょう。

このような時期に精神保健福祉協会

お正月

おせち料理も

たべあきて

流星

は何をすべきでしょうか。会員の皆様  
 の立場で明るく健康な社会をつくるこ  
 とを目標に自分の力でできることをする  
 として皆で力を合わせていく、このよ  
 うな輪を広げて行くことではないでし  
 ょうか。協会のさまざまな活動を推進  
 するために皆様のご協力をよろしくお  
 願いします。



# 第5回 総会 報告

平成十三年六月三日  
(日)午後一時から第五  
回総会が近江八幡市の  
県立女性センターにお  
いて、三八〇人の出席  
のもと開催されました。  
汗ばむほどの陽気の中、  
昨年引き続き視聴覚  
室において討議されま  
した。

加藤会長の挨拶に引  
き続き、来賓祝辞とし  
て県知事(池口健康福

祉部長代理)からご挨拶を頂き、議長  
に滋賀医科大学の増井晃氏が選出され  
ました。議事としては、例年どおりの  
理事会報告、平成十二年度事業報告、  
決算報告が行われ、続いて協会役員  
の改選がなされました。そこで、設立  
以来四年にわたって会長をお務めいた  
だいた加藤進昌先生が退任され、新た  
に滋賀医科大学教授の大川匡子先生が  
会長に選出されました。加藤先生に  
今日に至るまで大変な御尽力を賜り、  
誠にありがとうございます。

続いて平成十三年度の活動方針、事  
業計画、予算が承認され、新しい体制  
で五年目の協会がスタートしました。

平成十三年度

滋賀県精神保健福祉協会

第五回総会 特別講演

「協会の過去・現在・未来」

講師 ● 東京大学医学部付属病院長

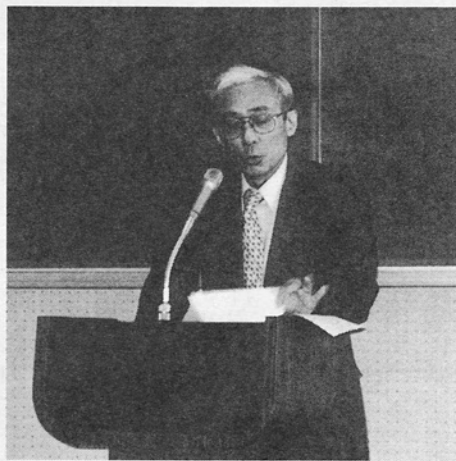
加藤進昌 先生

総会終了後、当協会の前会長である、  
東京大学医学部付属病院長の加藤進昌  
先生による特別講演が行われました。

加藤先生は平成九年の協会の発足当時  
から四年間にわたり会長を務められ、  
当協会のために大変な努力をしてこら  
れました。当日、会長職を退かれたば  
かりの先生に時間を取っていただき、  
これまでの協会のこと、協会に対する  
思い、これからの協会に期待すること  
など、尽きない思いを語っていただき  
ました。

まず、これからの時代に求められる  
ものとして「アカウンタピリティー」  
という言葉が引用されました。これは、  
「説明責任」という意味で、今後の社  
会においては、自己の責任においても  
のごとを行い、そして、その自らが  
行ったことを対外的に説明していくこと  
が必要とされるということです。この  
言葉は、先生が現在、東京大学医学部  
付属病院長としての日々の職務での経  
験を通じて、正に痛切に感じられてい  
ることなのです。

東京大学をはじめとして、今公立の  
大学病院は大変な時代を迎えています。



地域の精神救急医療の中核となること  
により、自らの存在意義を見いだす。  
ひいては、社会に対する「アカウンタ  
ピリティー」を果たしていこうとされ  
ているのです。

そして、先生は今まで述べてきたこ  
とを踏まえて、滋賀県の精神保健福祉  
協会のことを次のように述べられました。  
「滋賀県の精神保健福祉協会はなかな  
か設立の機運が高まらず、整備が遅れ  
ました。また、他府県の先行する協会  
は十分に機能していないところも見受  
けられました。そんな中で、県の努力  
ならびに委託事業を取り込むことで協  
会の設立がなされ、現在に至っている  
ことは喜ばしいことです。滋賀県は、  
各地域で分裂している歴史が長く、ひ  
とつにまとまって何かをしようとする  
ことはなかなかできなかった。そんな  
中で、各団体が、様々な利害の対立が  
ありながら、協会の中であんなにか同  
じテーブルにつけていることは非常に重  
要なことです。協会を活性化していく  
べきとの意見もあるが、予算・人手の  
点から難しい現状の中で、このひとつ  
にまとまって何とかやっているという  
事実が、まさに滋賀県精神保健福祉協  
会の存在意義であり、「アカウンタピ  
リティー」なのだと思えます。」

そんな中で、現在先生は、東大病院  
の将来のビジョンを思い描いていらつ  
しゃいます。それは、東大病院精神科  
が東京東部地域のソフト救急を受け入  
れられる組織にしていくというプラン  
です。というのも、東京の東部では、  
現在精神病院の数が大変不足してい  
て、救急医療の需要を十分満たし切れ  
ないからです。具体的に数をあげると、  
あんなに人口の多い東京の東部地区に  
精神病院はわずか一病院、病床は三十  
床しかないそうです。そこで、東大が

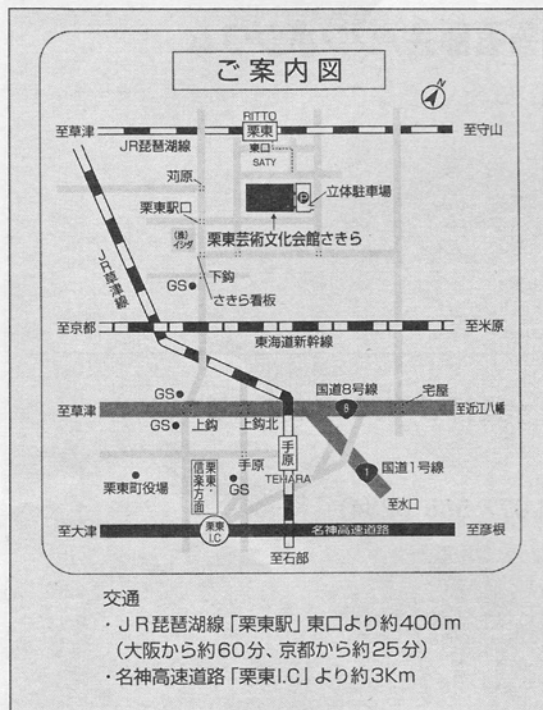
(文責 O)



# お知らせ

「探しに行こう 心にできた隙間を一埋めてくれる何かを  
～心の健康を考える講演と広場と映画の1日～」

## 合同事業開催



日時 平成14年3月17日(日)  
午前10時～午後4時

場所 栗東芸術文化会館  
「さくら」中ホール

入場無料

内容

第1部 AM10:30～

「現代青年の心とからだ」

～そのサインをどう受け止めるか～

神戸女学院大学人間科学部 教授

生野照子先生

第2部 AM11:50～

精神保健福祉や精神科医療関係機関  
の施設・作業所紹介、作品展示・即売、  
出展等

第3部 PM13:50～

映画上映「17才のカルテ」

問い合わせ先

滋賀県精神保健福祉協会事務局 〒525-0072 草津市笠山八丁目4番25号  
TEL 077-567-5250 FAX 077-567-5033

### 〈生野先生とはこんな人〉

現在、神戸女学院人間科学部教授として教鞭をとられる一方、大阪市大病院小児科で小児心身症外来を担当しておられます。

特に「摂食障害」の治療に積極的に関わってこられました。その中で患者や家族が主体となるセルフヘルプが重要と考え、家族会や自助グループを支援しておられます。

「日本摂食障害ネットワーク」を立ち上げ、全国の患者や家族、専門家の連携を目指しておられます。

日本摂食障害ネットワーク事務局連絡先：(Tel) 090-3874-5739

## 伝言板

### 家族も楽になるソーシャルスキルトレーニング

日時 2002年2月2日(土)午後1時～5時

場所 南彦根クリニック(JR南彦根駅 徒歩4分)デイケア室

内容 家族支援に係る方々を対象に、患者さんへの家族の対応を中心としたSSTの研修会。講師にSST普及協会認定講師の吉田みゆき先生(名古屋:北林病院PSW)をお招きして家族が楽になるためのスキルを学びます。

問い合わせ先 NPO法人 サタデーピア 彦根市西今町138 南彦根クリニック 気付 サタデーピア事務所  
TEL 0749-24-7808 FAX 0749-24-7807

### “ふれあい甲賀”をみんなで進める会(障害者部会)シンポジウム

日時 2002年2月9日(土)午後1時～4時

場所 甲西勤労者総合福祉センター

内容 ○シンポジウム「街でくらすー精神障害者の思いに応えるためにー」  
○基調講演:演題「街でくらす」寺谷隆子氏(JHC板橋)  
◆定員/360人 ◆参加無料

問い合わせ先 甲賀地域振興局健康福祉推進課  
TEL 0748-63-6144 FAX 0748-63-6165

### 「福祉を変える、野洲から変える」ー福祉づくりはまちづくりー

日時 2002年2月9日(土)午後1時～5時

場所 野洲町立三上社会教育センター(野洲町三上828 TEL077-586-5234)

内容 大阪大学大学院教授 前朝日新聞論説委員 大熊由紀子さんを迎えて…  
○第1部 講演会  
「誇り・ぬくもり・輝きの福祉を」ー安心して暮らせるまちづくりを目指してー  
○第2部 パネルディスカッション  
「身近な人が精神病になったらどうしますか?」ー本人・応援する人・まち、少しずつ変わっていきたいー  
◆参加無料

問い合わせ先 野洲町社会福祉協議会 TEL 077-588-2277  
●主催:野洲町障害者関係団体連絡協議会 ●共催:野洲町社会福祉協議会 ●協力:しみんふくし滋賀 野洲慈恵会

### 鳩の会・精神保健総合センター共催 精神障害者家族会等研修会

日時 2002年2月25日(月) 午後1時30分～4時 (受付/午後1時～)

場所 つがやま荘 5階 ロイヤルホール (JR守山駅東口より 徒歩3分)

内容 「これからの家族会のあり方」  
講師 池末美穂子氏(日本福祉大学社会福祉学部)

参加を希望される方は、平成14年2月15日(金)までに、郵送あるいはFAXにて、下記により申し込んでください。

問い合わせ先 滋賀県立精神保健総合センター 地域保健部 〒525-0072 草津市笠山8丁目4-25  
TEL 077-567-5010 FAX 077-567-5033

### 「こころの会」例会のご案内

日時 2002年3月10日(日)午後1時30分～3時30分

場所 県立女性センター 研修室B

内容 今、悩んでいることなど。年金のことなど。

問い合わせ先 「こころの会」 蒲生郡日野町木津192 TEL・FAX 0748-52-2918



# つがやま荘で 会いましょう

… 滋賀県内の精神保健  
ボランティア勢ぞろい…



「今年には県内の精神保健ボランティアが初めて一同に会し、「こんにちは」って出会える場にしていきたい。この日の出会いが、また明日への活動につながっていきけるような集いにしたい。」  
と思ひ、秋晴れのさわやかな日の十月二十九日(月)に守山のつがやま荘で、交流会を開催しました。

精神保健ボランティアの方、関係者の方等七十八名の参加がありました。

交流会の内容は、最初に「こんにちは、はじめまして：」と題し、楽しく名刺交換を行った後、それぞれの活動を紹介しあいました。名刺交換では、手作りで個性豊かな名刺がみられました。活動紹介では、それぞれの思いや日頃の活動等みなさんの心あたたまるお話が聞かれました。休憩中、野洲サロンのみなさんのコーヒーサービスがあり、それぞれの思いを話し合いながら、より一層の交流を深めることができました。活動紹介の後、湖南クリニックスの植林先生より「滋賀県の精神保健ボランティアに期待すること」をテーマに話をいただきました。「精神保健ボランティアは、当事者にとって必要な時に側にいる仲間であり、当事者と市民の架け橋的存在です。活動の繰り返し

実践につながっていくとともに、市民としての声を伝え続けていくことが社会の制度を変えていく力にもなります。自律性、継続性、感受性、ネットワーク、フットワーク、マイペースの六つを柱に、今後も精神保健ボランティア一人一人の活動に期待します。」というメッセージをいただきました。

最後に、交流会に参加された方々から、「楽しい交流会でした」「人との出会い、先生のお話を聞いて勇気が湧いた」「ボランティアは限りなき活動であり自分のためだと気づき参加することがメリットだと感謝している」「等のたくさんのお声が聞かれ、盛大な交流会になりました。

また、来年もみなさんの意見を参考にして参加してよかったと思っただけのような企画を考えていきたいと思ひます。是非その折には、みなさんとお会いできればと思ひます。

(文責 N)



## 会員の声コーナー

● 手根管症候群?と、先生にいつているのに、発見してくれず、平成12年近くの脳外科で、両手が、使えなくなると言われ、手術しましたが、失敗で両手に「しびれ」と「痛み」が残っていて、身体障害者3級になり、重複障害者になりました。1人1年金なので、生活が苦しく、精神と身体の年金がほし〜い!

年金のことについては、  
社会保険事務所等に問い  
合わせて、ご確認されて  
はいかがでしょうか…。

# 滋賀県精神保健福祉協会 入会のご案内

県民、民間団体、学識経験者、医療、行政などが一体となって、精神保健福祉に関する知識を広く県民に普及啓発し、障害のある人もない人も共に暮らしよい社会づくり、「こころ豊かな社会」の実現を目指し会員の皆さまとともに活動しているところです。1人でも多くの方とともに活動をつづけて参りたいと思いますので、よろしくお願いします。

皆さまの入会をこころよりお待ちしております。くわしい内容については、下記へお尋ね下さい。



(年額)

## 【会費】

○一般会員 (この会の趣旨に賛同して入会した個人または団体)

個人会員 1,000円                      団体会員 10,000円

○賛助会員 (この会の事業を賛助するため入会した個人または団体)

個人会員 1,000円                      団体会員 20,000円

事務局：〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号 滋賀県立精神保健総合センター一気付  
TEL 077-567-5250 FAX 077-567-5033

## 会員数

平成13年11月21日現在

一般会員	個人会員	316名
	団体会員	46団体
賛助会員	個人会員	22名
	団体会員	6団体

事務局職員が九月より新しくなりました。どうかよろしくお願ひ致します。

中島かをる



## 編集後記

- ◆平成12年改正の精神保健福祉法の目玉のひとつ、精神障害者居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）が平成14年4月から市町村において実施されることになっています。それぞれの地域で試行事業がわたくしで行われましたが、その成果が注目されるところです。利用者にとって身近なサービスへの期待が高まっています。
- ◆精神保健福祉協会の活動は各構成団体の任意の自発性に依拠していますので、テキパキとは進まないということは事実です。そういう中で苦勞を積み重ねていくことが、今後につながると思います。いわゆるコラボレーション（共同作業）ということになるのではないのでしょうか。本年は「心の健康を考える講演と広場と映画の一日」という合同事業を3月17日に企画しました。
- ◆生野先生には「現代青年の心とからだ」と題して講演をしていただきます。17才問題で衝撃を受けたのはまだ記憶に新しいところです。現代青年の抱える問題に思いをはせながら、私たち自身の心の健康を考える一日にしたいと考えています。生野先生が関わっておられる「日本摂食障害ネットワーク」では患者、家族、専門家らの連携を目指しておられます。それぞれの立場の個別性と相互性を意識しておられ、セルフヘルプ活動の新たな広がりを感じます。
- ◆加藤前会長はアカウントビリティを強調されました。日本では「阿吽の呼吸」とか「寄りしむべし知らしむべからず」という感覚がまだ根強くあり、なかなか馴染みにくい概念です。本会報誌が「説明責任」の一端を担えるように努めていきたいと考えています。

(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)